

横浜食肉市場ミート・フェアが開催されました

第35回横浜食肉市場ミート・フェアが、4月14日（金）に開催されました。今回は、全国各地から和牛の部に107頭、交雑種（乳牛の雌に和牛の雄を交配した雑種）の部に39頭、合計で146頭が出品されました。県内からは、和牛の部に6頭、交雑種の部に8頭、合計14頭が出品されました。当所からは、普及指導課職員が審査員として出席し、これらの出品牛を審査しました。

冷蔵庫の中に整然と並ぶ枝肉は壮観で、枝肉の構成、枝肉重量、ロース芯面積、サシの入り、脂の質など全てが素晴らしく、生産者の特徴が出ており、出品に対する意気込みが感じられました。

審査の結果、和牛の部では青森県の(有)金子畜産が出品した去勢牛が名誉賞、交雑種の部では茨城県の(有)和洋茨城牧場の雌牛が最優秀賞に選ばれました。

県内の生産者では、南足柄市の長崎牧場が出品した雌牛が交雑種の部で優等賞に入賞しました。

飼料価格の高騰により、県内の肉牛肥育経営は依然として苦しい状況が続いています。

当所は、県内の肉牛生産者が安心して経営を継続できるよう、引き続き日頃の飼養管理技術の改善等による収益性の向上を支援していきます。



和牛の部名誉賞の枝肉断面



肉牛枝肉の審査風景